

α（アルファ）とβ（ベータ）について②βについて



- 十分に効率的な市場が存在した場合、そこで投資家が得られるリターンはβのみ
- 各市場を代表するインデックスファンドに投資することで各市場のβを得ることが期待できる
- どの指数を選ぶのかでβは異なる、そもそも十分効率的な市場が存在するのか、という点に注意が必要である

市場が十分に効率的である場合、投資家が得られるリターンとは

前回ご説明しましたが、βとは市場からもたらされたリターンのことを指します。現代投資理論では、十分に効率的な市場が存在した場合、そこでは他の投資家を出し抜いて利益を出すことはできないと考えられています。十分に効率的な市場とは、全ての投資家が完全に合理的な投資行動を行い、あらゆる情報が即座にかつ完全に証券価格に反映される市場のことを指します。このような市場が存在する場合、そこでは投資家が市場リターンを上回るリターンを得ることはできず、最終的に投資家が得られるリターンは市場から得られるリターンであるβのみとなります。

βを獲得する方法

では各市場のβを獲得するにはどのような方法があるのでしょうか。代表的な方法は、インデックス運用を行っているファンドに投資するという方法です。インデックス運用のファンドは、トータル・リターン指数から得られるリターンからコストを差し引いたリターンが期待できます。つまり、βから運用コストを差し引いたリターンが期待できることということです。インデックス運用の最大のメリットはコストの安さです。より運用コストの低いインデックス運用のファンドに投資することで、各市場のβに近いリターンを得ることができると考えられます。

βの留意点

十分に効率的な市場では、インデックス運用のファンドを通じて各市場のβを獲得する方法が銘柄やファンドの選定に悩まされず、非常に効率的・合理的で、唯一無二の投資手法のように考えられます。しかし、いくつかの点に留意しなければなりません。まず、どの指数をもって市場の代表とするかという点です。例えば日本株のインデックス運用のファンドを選ぶ際、ベンチマークがTOPIXのファンドを選ぶのか、それとも日経平均のファンドを選ぶのかによってβは変わり、リターンに差が生じます。つまり、各市場のβを決定することは非常に難しい作業と言えます。また、ベンチマークの多くが時価総額加重平均指数であることにも留意しなければなりません（インデックス運用とアクティブ運用のちがいを③をご参照ください）。そして、「十分効率的な市場が存在した場合」という前提にも留意が必要です。もし全ての投資家が完全に合理的な判断のもとで投資を行うのであれば、バブルや大暴落は起こらないはずですが、しかし、過去を振り返ってみると、何度もバブルや大暴落は繰り返されており、多くの市場では必ずしも投資家は合理的な判断のもと投資を行っているとは言えません。

このようにインデックス運用のファンドを通じてβを獲得する際、①指数の選び方次第ではβが異なりリターンに差が生じる点、②ベンチマークの多くが時価総額加重平均指数である点、③十分効率的な市場が存在するの点かという点に留意しなければならず、各市場のβに近いリターンが期待できるインデックス運用のファンドが唯一の運用方法であると盲目的に信じてしまうことに注意する必要があると言えるでしょう。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

「投信新世代」のための基礎知識

「iInfo」はピクテのインターネット専用「iTrust」シリーズの 受益者のみなさまにご提供する**会員限定サービス**です。

ピクテのiInfoには投資家のみなさまの、
「プロ並みのファンドや市場環境の情報がほしい」
「投資に役立つ知識を自分のペースで学びたい」
 …というご要望を満たす様々な情報をご用意しております。

具体的には、iTrustシリーズのバリュエーションレポートやピクテの短期・長期の投資環境見通しを紹介した戦略レポート「Barometer」
 「Secular Outlook」、投資の基本をやさしく学べる「BASE VIDEO & TEXT」、コラム「投信新世代のための基礎知識」など、様々なコンテンツが用意されています。

iInfo詳細はこちら

<https://www.pictet.co.jp/itrust/iinfo>



iInfo

(「iInfo」で検索してください)



iInfo by Pictet Facebookページのご紹介

iInfoのFacebookページができました！
 ここでは、私たちが日々取り組んでいることや、
 みなさまのお役に立てそうなことなど、
 様々な情報をお届けしてまいります。

iInfo by Pictet Facebookページ

<https://m.facebook.com/iinfo.pictet.jp/>



iInfo

(Facebookで「iInfo」
と検索してください)



当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。